

# Pen F

ペーパークラフト 組立説明書



**OLYMPUS**

### 準備するもの

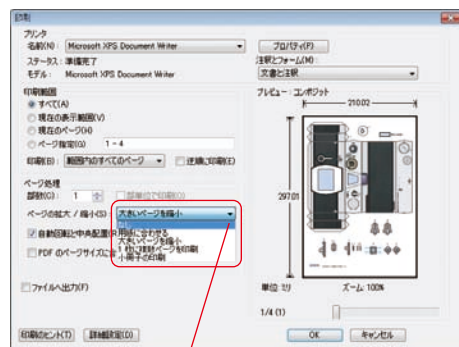
- パーツをプリントする A4 用紙（インクジェットプリンタ使用の場合はフォトペーパー、レーザープリンタ使用の場合は中厚口の A4 用紙がおすすです。）
- 組立説明書をプリントする A4 用紙
- はさみ ○カッターナイフ ○定規 ○ピンセット
- インクの出なくなったボールペン、鉄筆、千枚通しのようなもの
- 木工用や紙用の接着剤 ○マーカー ○工作用マット など。

### 展開図の読み方

- 「———」は切り取りです。 ※パーツは組立説明書に特記事項が無い限り基本的に「山折り」です。
- 「-----」は山折りです。
- 「- - - - -」は谷折りです。
- 「■」の色が付いてある箇所は「切抜き」してください。
- 「●●●」がついている箇所はのりしろもしくは接着面です。
- 「.....」は他のパーツを接着するための目安の線です。

### 印刷時の注意

Adobe Reader でプリントする場合、印刷時に現れるダイアログ（右の図参照）から、「ページの拡大 / 縮小」を「大きいページを縮小」から「なし」に変更してください。「大きいページを縮小」のままだと、実物大になりません。



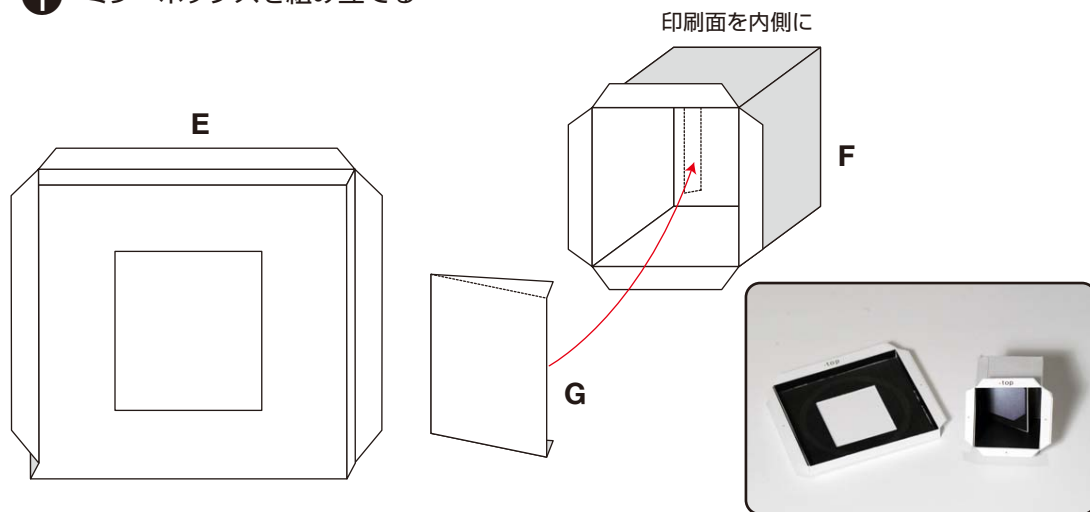
ここをクリックして「なし」を選ぶ

### 組み立てのコツ

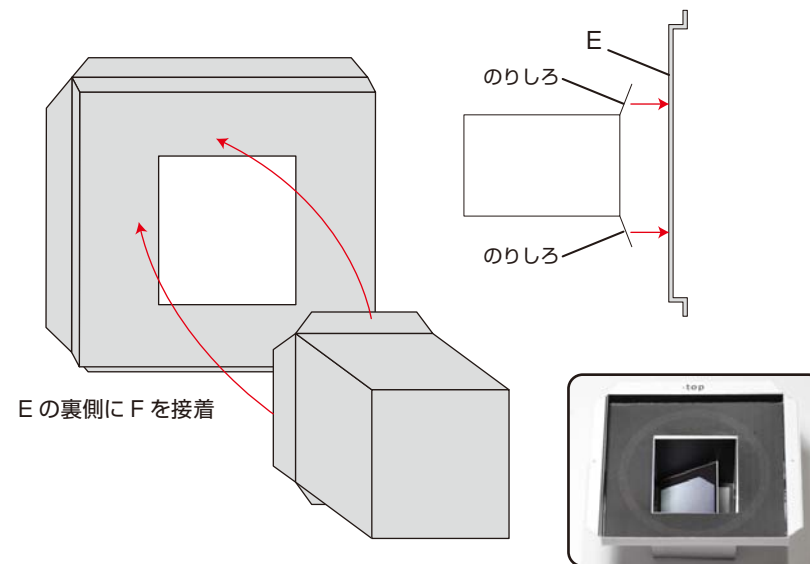
- 1) プリントした用紙からパーツを切り離す前に、インクの出なくなったボールペン、鉄筆などで山折り線や、谷折り線をなぞっておくと、きれいに折ることができます。
- 2) プリントした台紙から、それぞれのパーツをパーツの切り取り線の外側に沿うように切り取ります。
- 3) パーツを区別しやすくするために、切り取ったパーツの裏に薄く番号を書いておきます。
- 4) ハサミで直線を切るときは、ハサミを動かすのではなく、紙を手前に引きながら切るようにします。カッターナイフの場合は工作マットなどを下に敷き、定規を使って切り取ります。
- 5) 丸い部分を切る時も、ハサミを動かさず紙を動かしながら切ると、綺麗に切り取れます。
- 6) それぞれのパーツに折りくせをつけます。のりづけも楽になりますし、正確に組み立てることができます。
- 7) 直線を折るときには定規を使うと綺麗に折ることができます。
- 8) レンズなどの丸みをつけたいパーツは机の角などで紙をしごいてあらかじめクセをつけてから接着します。
- 9) 細かいパーツが多いので、のりを十分に乾かしながら、作っていくのがポイントです。また、のりが手などに付いているとパーツを汚すので注意してください。
- 10) 木工用接着剤の場合、紙の切れ端などの上のにりを出し、厚紙を切ったヘラで接着剤をすくいパーツの「のりしろ」部分に薄くのばしながら付けていきます。
- 11) のりが乾くまでの間、しっかりと持って押さえておきます。
- 12) それぞれパーツ毎に組み立ててから全体を組み立てれば完成です！

**1** ボディの組み立て

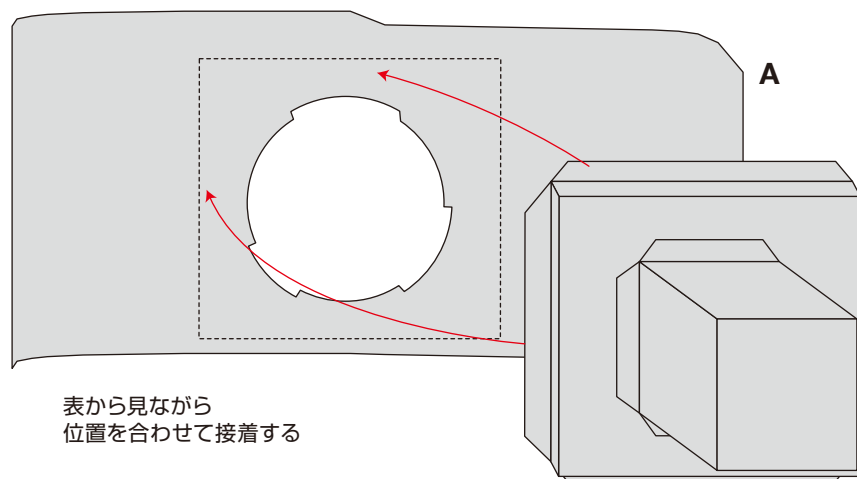
**①** ミラーボックスを組み立てる



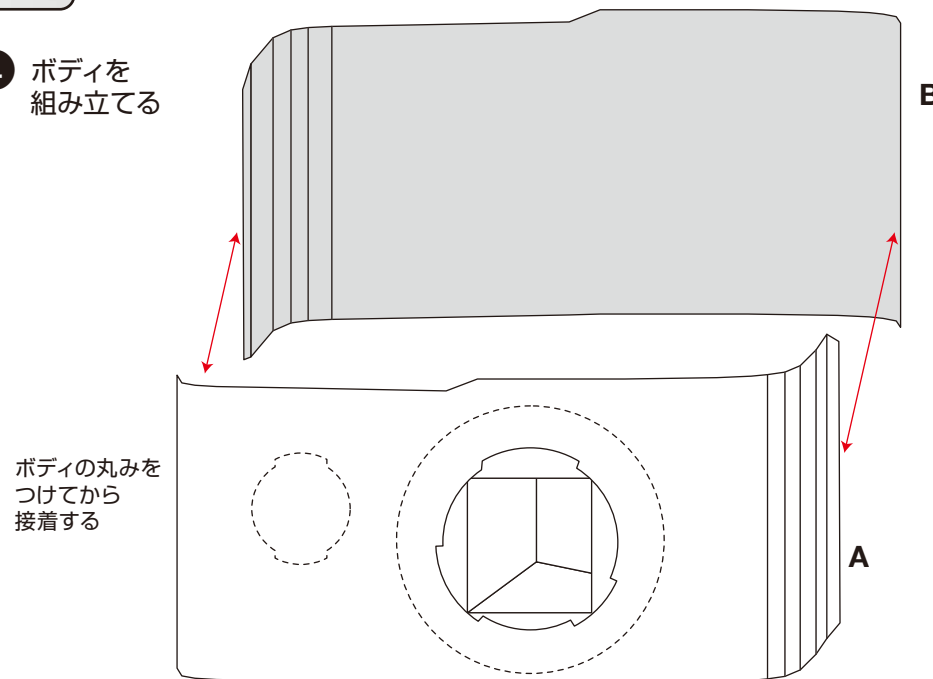
**②**



**③** ボディの裏側にミラーボックスを接着する

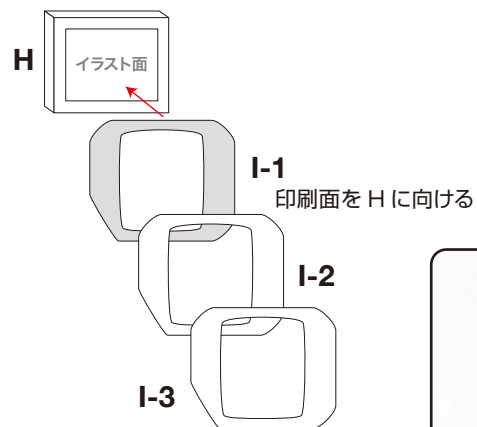


**④** ボディを  
組み立てる

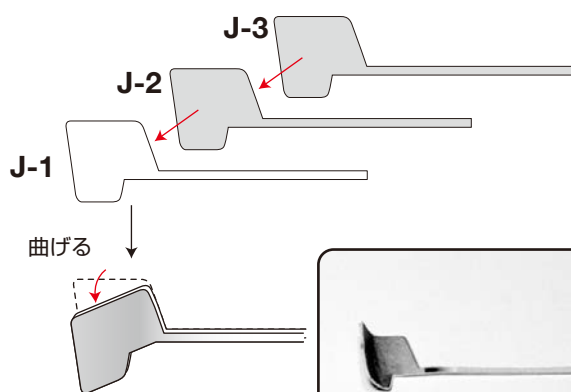


**2** 小さな部品の組み立て

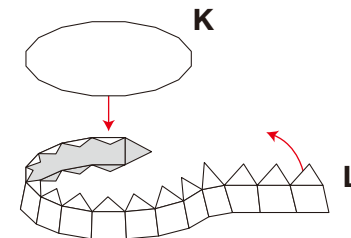
ファインダー接眼枠



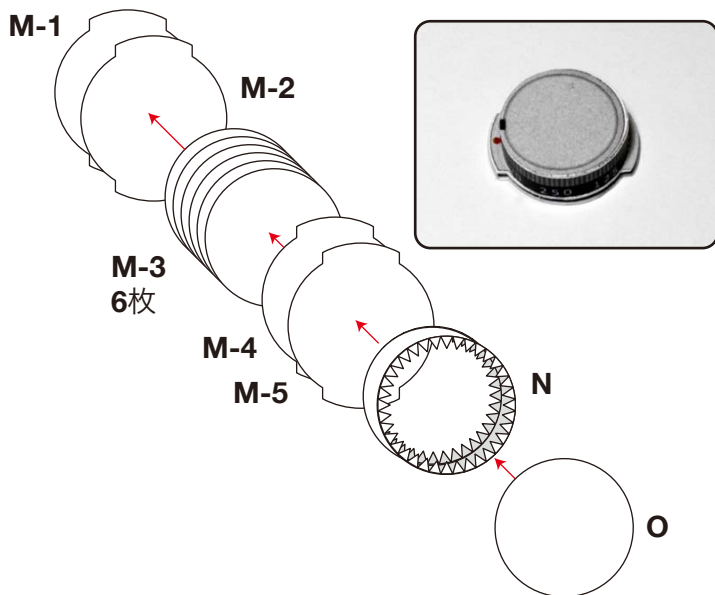
フィルム巻上げレバー



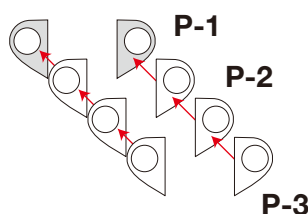
巻き戻しノブ



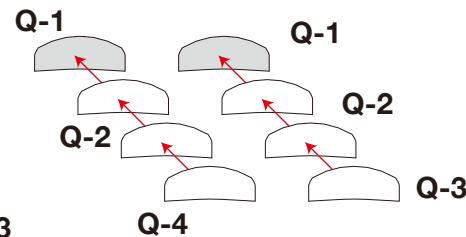
シャッタースピードダイヤル



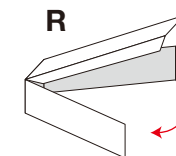
吊り金具



レンズ取り外しボタン

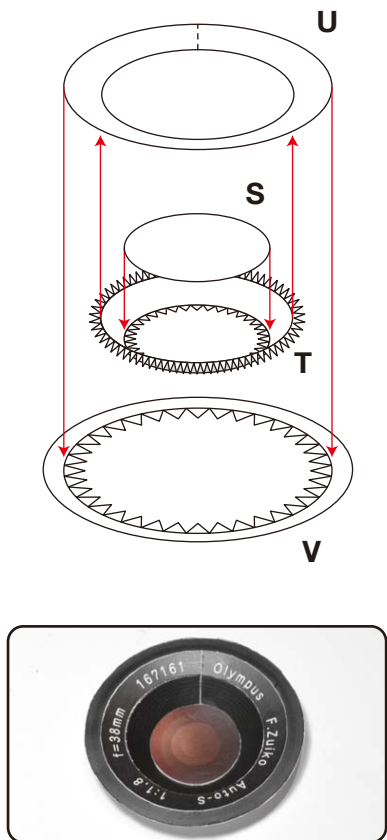


シャッターボタン

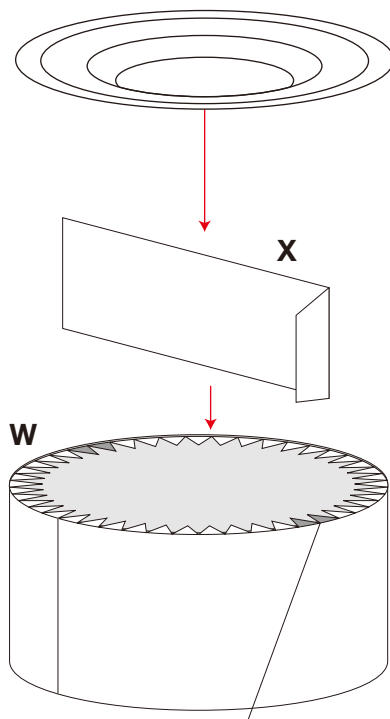


### 3 レンズの組み立て

#### 1 前枠の組み立て



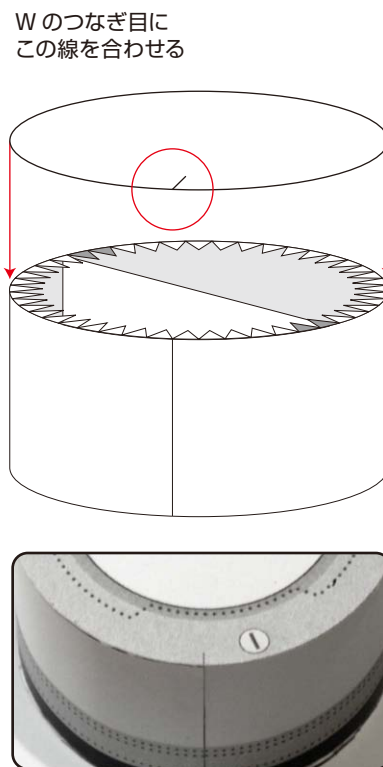
#### 2 レンズボディの組み立て-1



W ののりしろ部分に色のついている所は X を貼る目安です。  
X は W のセンターになるように接着します

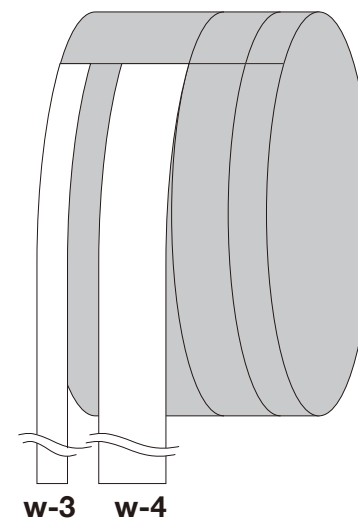
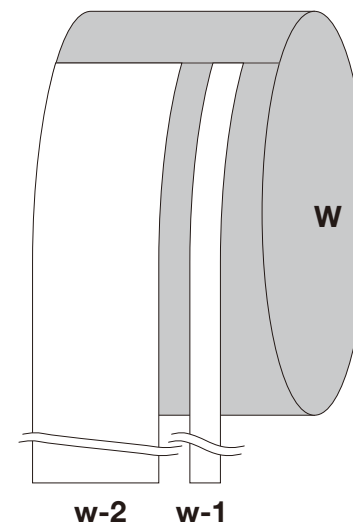


#### 3 レンズボディの組み立て-2



#### 4 レンズの仕上げ

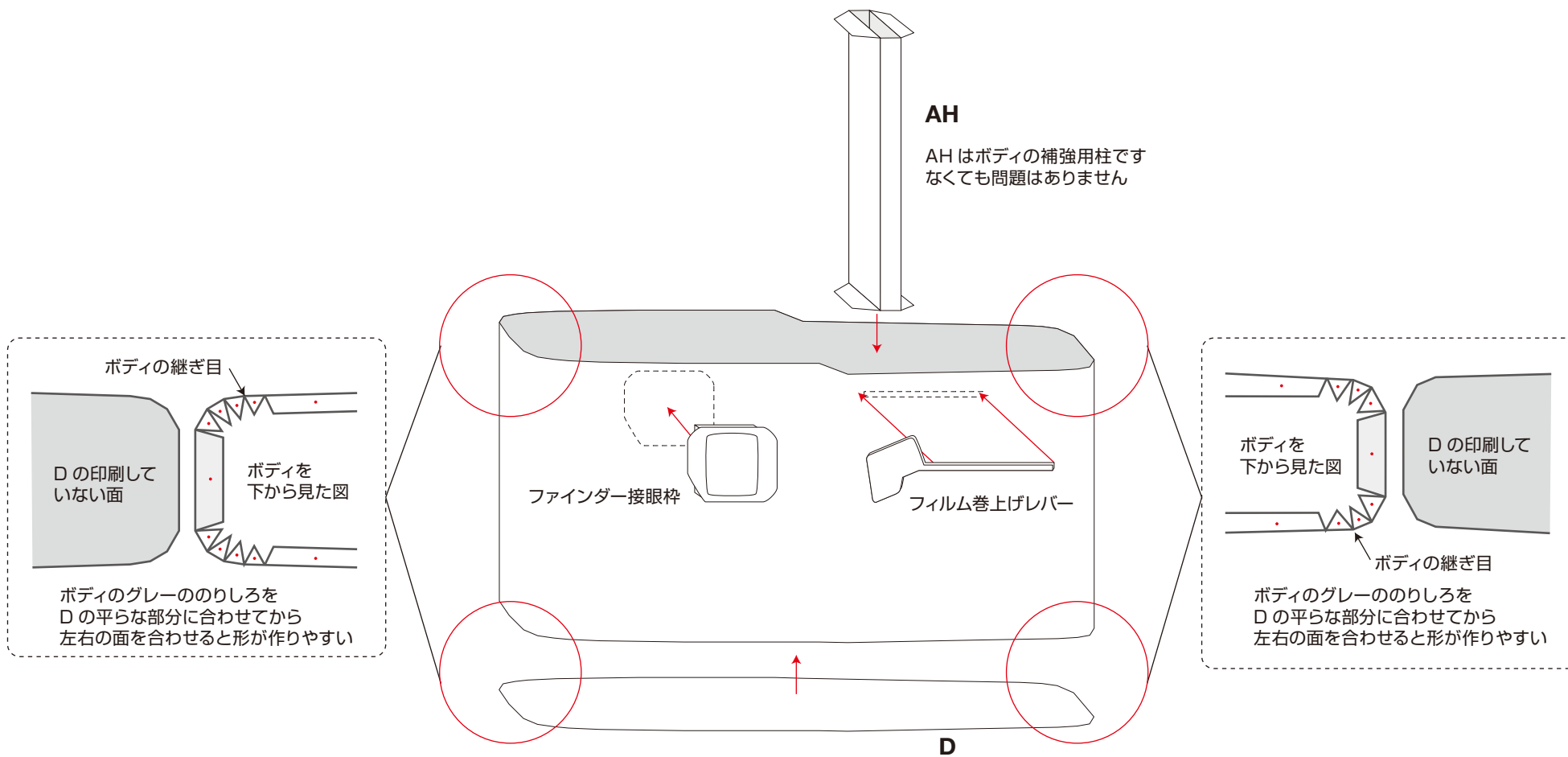
ボディの継ぎ目を起点にして [a] のパーツを巻き付けるように接着します



[w] パーツの関係



**4** ボディの組み立て



5 完成

